

科目名	グローバルインターンシップ (電子・通信システム工学コー		英文表記	Long Term Internship		H23.3.25	
科目コード	6022						
教員名	【電子通信】石田修己, 杉本和英 比嘉勝也, 兼城千波					作成	
技術職員名							
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
創造システム工学専攻・電子通信システム 工学専攻	専2	選	学修	2単位	実習	集中講義	
目標 及び 評価方法	目標項目			評価方法及びその割合			
	①海外での研修(企業・語学研修など)を通じて実践的な技術・語学力を身につける。			①研修(日報による報告) (30%) 研修先評価 (30%)			
	②異文化理解に必要な基礎的な素養・協調性・能力・価値観を身につける。			②研修先評価 (20%)			
	③海外での研究・学習を通して、グローバルな視点で物事を考え、研究を遂行できる能力を身につける。			③研修報告による評価 (20%) 上記①②③の60%以上で合格とする。			
高専 目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	情報通信システム工学	
	◎			○	JABEEプログラム教育目標	A-1,A-3,A-4,B-1,B-2,B-3,C-1,C-2,C-3	
授業概要、方針、履修上の注意	1. 履修を希望する学生は、各コース科目担当教員の指導を受け、授業計画に基づいて、インターンシップを実施する。 2. 実際の現場で長期にわたって業務を体験することで、実践的な技術を理解する。 3. 長期間にわたる実務経験を通して、職業意識を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につける。 4. 学校教育と就業体験の結合により、より高い職業意識を育成し、自主性・創造性溢れる専門性高い人材生成を目指す。 5. 習得した専門知識を生かし、学外における実務研修により、実社会で必要な要素・能力(企画力、計画性、実行力、労働・契約の意義、コミュニケーション能力、情報管理など)を実践レベルで身につける。						
教科書・教材	教員作成資料、企業作成資料						
授 業 計 画							
回次	授 業 項 目	時間	授 業 内 容			予 習 項 目	
1	講義内容説明・ガイダンス	1	インターンシップの意義と講義の進め方についてガイダンス				
2	インターンシップ先企業研究	60	約14日間程度、海外受入機関(大学・企業)において、研修活動を実施する			調査	
3	成果報告まとめ	29	インターンシップ報告資料を作成し、提出する。			与えられる課題・調査項目	
学習時間合計		90	実時間			75	
学修単位における自学自習時間の保証(レポート頻度など) 企業調査、報告書作成(30時間)を含め、総合計時間を90時間以上とする。							

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)